

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年8月4日(金)
午後1時29分から午後2時25分まで
- 3 場所 正・副議長応接室
- 4 出席委員 (委員長) 井上真砂美 (副委員長) 伊藤隆信
(委員) 片岡健一郎、鬼頭博和、堀江珠恵、日比野走、榊谷規子
欠席委員 なし
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 政策提言について

井上委員長：まず行政調査について事務局から説明をお願いします。

事務局：令和5年10月17日から19日までの2泊3日で調整できた。1日目午後は神奈川県座間市で、子育て世代包括支援センターについて。2日目午前には神奈川県大和市の柳橋小学校で不登校特例校分教室について、午後は千葉県鎌ケ谷市で放課後児童健全育成事業について。3日目午前には千葉県野田市で子ども未来教室及びGoogle for Educationパートナー自治体プログラム参加について。野田市はテーマが2つあるため別の担当課が説明する。質問項目を決めて今月中には相手先自治体に示したい。資料に基づき各市の視察項目の概要を説明。

井上委員長：質問等あるか。ないようなので、視察項目について案を配布したが何かあるか。

片岡委員：座間市子育て世代包括支援センター「ネウボラざまりん」について、利用者からの相談があつて初めて機能するが、積極的に利用されるための案内や取組があるか聞きたい。相談員やコーディネーターは市職員で行っているようだが、専門知識があるのかどうかや、研修を行っているならどのようなことを行っているか聞きたい。

榊谷委員：岩倉市でも健康課の保健師と子育て支援課の保育士で行っている事業があるので、そういったものかと思ったが、具体的にどのような人か聞くのは良いと思う。

井上委員長：岩倉市と違うのは市役所2階で両方のスタッフが常駐しているところかと思った。

鬼頭委員：岩倉市も市民プラザ2階に子育て支援センターがあり、そこもやっていることだと思うので、岩倉市との違いや特徴を知りたい。

榊谷委員：岩倉市の子育て支援センターは子育て支援課の保育士が中心で、常駐

保健師はいない。

堀江委員：座間市は妊婦期から子育て期まで連動して支援するところが特徴かと思う。

井上委員長：健康課と子育て支援課が一緒に市役所2階でやっているというところが気になった。

堀江委員：どうやって連携しているのかというところが岩倉市と違う。

榊谷委員：岩倉市も切れ目なくというのは常に言っており、保健師と保育士が連携した取組もある。

堀江委員：岩倉市は実施場所が保健センター。座間市は一箇所切れ目なくというのが良いところでは。

井上委員長：聞き取りした内容をまとめておく。次に神奈川県大和市について。

片岡委員：まず、一年間やって、何パーセントぐらいが特例校に通ったのか実績を聞きたい。オンライン環境も整えているようなので、オンラインも出席として扱っているのか、また、ハード面も含めてどういった環境でやっているのか聞きたい。最後に、実際に通っている子どもたちや保護者の反応を聞きたい。学校への復帰を目標としないというのが新しい発想だと思うが、そういう発想になったきっかけを経緯の中で聞きたい。

榊谷委員：戻るか戻らないかが子どもの選択なのかも聞きたい。

鬼頭委員：子どもの意向がたぶん一番強いと思う。

片岡委員：戻るという前提だと行かない子がいるのかな。結局おおくすも行く子が少ない。

榊谷委員：以前多かった時もあるが、やっぱり戻すことを目的とってしまうから。

片岡委員：戻りたくない子も中にはいるかもしれない。選択肢を増やすのは子どもにとってはいいことだと思うが、行政がなぜそこに踏み切ったのか、やはり子どもの声があったのか聞きたい。ここへ通った子は普通に中学校へ行ったのと同じことになるのだろうが、どういった授業をしているのかも気になる。

鬼頭委員：これだけ不登校が増えてくると色々な考え方の子が出てくるので、そういう子どもたちに対応できるようなシステムに変えていっているのではないかと思う。

井上委員長：ここまでの内容をまたまとめて調査項目に入れておく。

鬼頭委員：おおまかでいい。あとは各自が疑問に思ったところを聞けばいい。

井上委員長：そのようにする。では次に千葉県鎌ヶ谷市の放課後児童健全育成事業について。

片岡委員：事前資料だけだと何が特色か分からなかったの、長期休暇で定員が多くなる時どう対応しているかという質問しか出せなかったが、これは民間施設なのか。それであれば、民間委託した効果も聞きたい。空き教室の利用は

岩倉市でもやっているの、岩倉市と違うところにスポットを当てて質問を組み立てるとよいと思う。出欠管理アプリなど。

井上委員長：「かまっこ応援団」や「かまっこすくすくアプリ」などが出ている。

片岡委員：それは放課後児童クラブと関係あるのか。

井上委員長：市全体で子育てを支援しているよう。では鎌ヶ谷市については以上とする。次に千葉県野田市について。

片岡委員：全生徒中何人が子ども未来教室を利用しているかと、実施時間帯が分からないので気になった。どのような方が指導しているのか。また、経済的に塾に通えない子どもたちの支援という側面も考えているのか聞いてみたいと思った。

榊谷委員：小学校は3年生だけが対象。

片岡委員：小学校はなぜ10月までなのかも疑問。中学校は通年。

堀江委員：岩倉市は中学校でトワイライト学習を行っているの、それとの違いが気になる。

井上委員長：もうひとつのGoogle for Education パートナー自治体プログラム参加についてはいかがか。

片岡委員：参加すると色々なサポートが受けられて自治体にメリットがあるのだと思う。無償なのかどうか分からないが。一年間やってきてどういったメリットがあったのか聞きたい。特定の学校を決めてやっているようだが、効果の実例を聞きたい。「ネットリテラシーの基礎を学ぶ研修」は小中学生にやってくれるのか、やるのか。

鬼頭委員：Google から誰か来てやってくれるのでは。

片岡委員：そういうのはいいと思う。

堀江委員：岩倉市も全中学校や小学校でICTの授業をやっている。

片岡委員：どれぐらいのレベルなのか。

堀江委員：先日見に行ってきたが、専門の方が来て月何回かやっているとのこと。生徒に対してもだが、先生の業務改善にもつながっていけばいいなと思う。岩倉市はまだそこまでのように感じなかった。

井上委員長：では視察の質問項目については以上とする。政策提言については、視察の結果をもとに皆さんと一緒にまとめていきたいと思う。

榊谷委員：放課後児童クラブは全て民間委託のところなので、民間委託する政策提言なら反対。

片岡委員：どれが一致できるかも重要となってくる。

(2) その他

片岡委員：質問事項は今月中にまとめないといけないということだが、もう一度

集まるのか、今まとめたものを配布されるだけなのか、予定を聞きたい。

井上委員長：まとめてからLINEでお知らせするので、皆さんから意見がなければそのまま視察先をお願いする。協議会はなしとする。事務局いかがか。

事務局：今後、事務局としては行程表が決まり次第皆さんに示す。先方の説明の準備のためにも質問項目は早めにいただきたい。

8 その他

なし。